

科目コード	R24153	科目名	チーム医療論				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	馬屋原 康高・嶋本 文雄・原田 耕志・Bontje Peter・三上 裕子・村木 士郎・阿部 奈緒子						
授業の概要	異なる専門領域の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。ケアチームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、組織管理について学習する。事例を通して連携の方法論とグループダイナミクスについて考察する。将来よりよいチームアプローチを実践するための基礎を培う。医療福祉に関わる各専門職について、歴史、学問体系、役割、機能についての基本的知識を学ぶ。学科横断的に編成するチームによる事例検討を通して、チームによる問題解決プロセスを経験する。よりよいチームアプローチのために必要な要因について学修する。なお、各回の講義において到達目標を提示するとともに、その目標に対して自らの学びを振り返り、学んだ内容、疑問点や課題を整理することで主体的な学びを促す。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用用者のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療の重要性を説明できる。 2. 望ましいチームワークに必要な、基本的知識およびスキルについて理解し、その内容について説明できる。 3. チーム医療を構成する各専門職の役割や支援（治療）目標を理解し、その内容を説明できる。 4. 各専門職間の連携、協働の方法を理解し、医療、地域、福祉領域の連携の重要性を理解し、その内容を説明できる。 						
履修上の注意事項	<p>8回講義ですので、特に欠席しないよう体調を管理してください。</p> <p>講義を欠席した場合、課題レポートが作成できないため評価点に影響することを予めご承知おきください。</p> <p>出席確認はC-learningで行います。スマートフォンやノートパソコンなどC-learningを操作できるデバイスを持参してください。</p> <p>レポートの記載内容をAIで生成することは禁止します。AI検出ソフト等でAIの使用が判明した場合は、レポート課題の点数を0点として採点いたします。</p>						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	チーム医療とは何かを概観し、チーム医療に必要な基本的知識およびスキルについて解説する【馬屋原】			講義内容に関するレポート作成（2時間）		
	2	多職種連携の現状と課題 看護師が行う口腔ケア【原田】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
	3	看護師の仕事とチーム医療における役割【村木】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
	4	医師の仕事とチーム医療における役割【嶋本】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
	5	在宅患者様の体験談からチーム医療を考察する【馬屋原、阿部】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
	6	理学療法士の仕事とチーム医療における役割【馬屋原】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
	7	作業療法士の仕事とチーム医療における役割【Bontje Peter】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
	8	言語聴覚士の仕事とチーム医療における役割【三上】			C-learningに掲載される講義資料を用いた事前学習（1.5時間）、講義内容に関するレポート作成（1時間）、講義内容に関する復習（1.5時間）		
成績評価方法	各回のレポート課題の点数を合計し評価いたします（各回10点×8回 計80点満点 100点換算 評価点） レポートの記載内容は、何を学んだのかを資料の書き写しではなく、教員が口頭で説明した内容を含めて簡潔に説明してください。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
参考書							
教員からのメッセージ	他部門の役割について情報を得ることができる唯一の講義です。4年後に働いている姿を想像しながら聴講してください。講義の最後に講義内容をまとめる時間を設ける場合があります。その際は、ノートパソコンやタブレット端末の使用を許可します。本講義は、宇品キャンパスと中継し看護学科との合同の講義となります。						
教員との連絡方法	馬屋原までお問い合わせください。 西風新都キャンパス、研究棟4階401号室 メールアドレス：uma@hcu.ac.jp						
実務経験のある教員	各専門分野または職種における臨床経験を有する教員が講義いたします。						